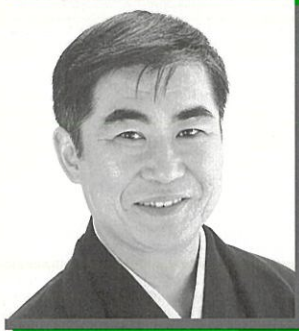


茨木市は、お米がおいしく、地酒もうまい、中国・安慶市と仲良く、ゴルフの丘は緑がいっぱい — そんな茨木にちなんで、お米、お酒、中華料理、ゴルフの嘸(はなし)を集めての落語会！どうぞお楽しみください



桂 三 枝

よ あ まゑ
「ゴルフ夜明け前」

昭和58年度「文化庁芸術祭大賞」



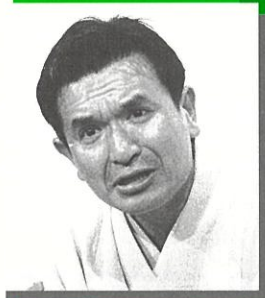
笑福亭 松喬

「らくだ」

平成8年度「芸術祭賞優秀賞」



楽しくてためになる《解説》は
もちろん茨木在住の



桂 小春団治

ハートブレイクホテル
「失恋飯店」

平成9年度「芸術祭賞新人賞」



相羽 秋夫

(演芸評論家
大阪芸術大学教授)



桂 三 金

こめ あ いがき
「米揚げ茶」



平成12年(2000年)

5/24【水】

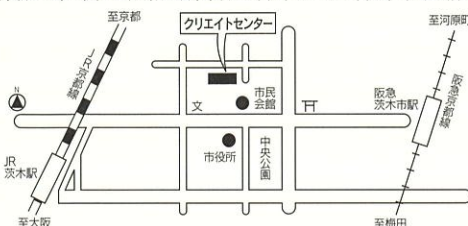
昼の部＝午後2時00分開演(午後4時30分終演予定)

夜の部＝午後6時30分開演(午後9時00分終演予定)

※昼夜とも同じ演目です

茨木市クリエイトセンター・センターホール

JR茨木駅から東へ徒歩10分、阪急茨木市駅から西へ徒歩10分、市役所・市民会館北100m



■入場料[全席指定席]

1階席＝4,000円／2階席3,000円

65歳以上、24歳以下、障害者及びその介護者は
各料金から500円引き

※割引の取り扱いは文化振興財団のみです。

※就学前のお子様の入場はご遠慮ください。

■チケット販売所[3月13日(月)発売]

(助)茨木市文化振興財団 ☎0726-25-3055

チケッ ト ピ あ ☎06-6363-9999

ローソンチケット ☎06-6369-6633 [コード59520]

※ローソン各店で直接購入できます

※ぴあ・ローソンでは割引の取り扱いはありません

■お問い合わせ・電話予約

(助)茨木市文化振興財団 ☎0726-25-3055

〒567-0888 茨木市駅前四丁目6番16号クリエイトセンター1F

月～金 9:00～17:15(土・日・祝日は休業)

茨木市文化振興財団第27回公演

茨木まるごと落語会

平成12年5月24日(水) 昼の部=午後2時/夜の部=午後6時30分 茨木市クリエイトセンター・センターホール

わが街・茨木を、私たちは知っているようで良く知りません。と言って、解説書をひもとくのも面倒だ、という人たちのために、格好の落語会が催されることになりました。

題して「茨木まるごと落語会」と言います。一流の演者が、それぞれに一級の演目を演じます。そしてその中に、茨木市の誇る物産や観光、それに友好都市などを知らうという企画なのです。落語史上、初の試みと言つていいこの落語会をお見逃ししないように……。

それでは、演者のプロフィールと演目の聴きどころ見どころをご案内します。

■ トップバッターは、**桂三金さん**です。一九七二(昭和四六年)、大阪府の生まれです。九四年(平六年)に桂三枝師のもとに入門しました。三枝門下十番目の弟子です。門下生を順番に記すと、三馬枝、枝三郎、三歩、三発、三之丞、三風、三象、三扇、三若、そして三金です。この下に三ノ助、三弥がいます。

三金さんは、自分の独演会にたくさんの方が集まるのを夢見て、腕を磨いている期待の星です。趣味は音楽鑑賞とスポーツ観戦と言います。

演ずる「**米揚げ簀**」は、ご飯を炊く時に、米を洗つておく簀を売る商人と、堂島の米相場師のやりとりを描く古典落語です。

茨木市で獲れる「**三島雄町**」「**ヒノヒカリ**」「**祭晴**」などのお米に因んでの噺なのです。

■ 続く、**桂小春団治さん**は、一九五八(昭三三)年、大阪府の生まれです。七七(昭五二)年に三代目春団治師に入門して、最初は春幸と言いました。その後、小春を経て、三代目小春団治を襲名しました。

小春団治という名前は、露の五郎師の前名で、春団治一門の大きな名跡です。それだけ将来が囑望されているわけです。その一つの証が、第五二回「芸術祭賞新人賞」を獲得したこと。

どちらかと言うと、創作に非凡な手腕を発揮しています。今回の「**失恋飯店**」も、その一つで、自作自演の秀作です。この噺で前述の新人賞を受賞しました。「**ハートブレイクホテル**」と読んで下さい。

聴き手の知的欲求を満たす作品で、茨木市の友好都

落語を聴いて 茨木を知ろう

相羽秋夫

演芸評論家
大阪芸術大学教授

市、中国の安慶市に因んで上演されるものです。きつと抱腹絶倒のひとときとなるでしょう。

■ 三番目は、**笑福亭松喬さん**の熱演です。松喬さんは、一九五一(昭二六)年、兵庫県の生まれです。六九(昭四四年)に、六代目松鶴師門下となり鶴三。八七(昭六二年)に六代目の松喬を継ぎました。

笑福亭一門の重要な位置を占めながら、たくさんの方にも恵まれて、上方落語界でも得難い存在です。古典派として重きを成し、第五一回「芸術祭賞優秀

賞」の受賞作品が、今回の「**らくだ**」なのです。

古典中の古典として、この作品はたくさんの方に愛好されてきました。主人公が少しずつ酔っていく過程の描写がむつかしく、松喬さんは、師匠松鶴ゆずりの名演技を披露してくれることでしょう。

■ テーマが酒ということで、茨木市の特産品の一つである日本酒と連動して聴いていただくと興味が倍加します。

さて、トリは、**桂三枝師**です。もう解説するまでもなくマスコミの寵児として君臨している人気者です。

三枝師は、一九四三(昭一八)年、大阪府の生まれです。六六(昭四一年)に、五代目文枝師に入門しました。

一門の顔ぶれば、三金さんの項で紹介したとおりです。この他にも「**芸能維新塾**」と名付けた養成機関を持ち、落語以外のお笑いの分野で活躍している弟子もいます。

現代を描いた新作という意味の「**創作**」という言葉を使つたのがこの三枝師で、自らすでに百作以上の創作をこしらえてきました。

「**ゴルフ夜明け前**」は、その傑作の一つで、昭和五八年度「文化庁芸術祭大賞」を得た噺なのです。

■ わが茨木市は、ゴルフ場の出来た歴史が古く、この作品にぴったりの状況にあると言えましょう。近藤勇と坂本龍馬のプレイ風景をご満喫下さい。

と、充実したメンバーの十八番の作品をそろえました。しかも、お仕事をお持ちの方のことも考え、昼夜二回公演にして、皆さんの便に供しようというわけです。かく言う私は茨木市在住で、冒頭で茨木市と演目との関係をご案内いたします。どうかにぎにぎしくおつめかけいただきますよう、お願い申し上げます。